

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	道路環境の整備	コード	作成者	役職	まち整備課長
		05-08-34	平田惣己治	氏名	平田惣己治
			電話	64-1833	
			このシート作成に要した時間	2.5 時間	

この施策の アピール ポイント	市民生活の利便向上や地域経済の活性化、通学路や緊急車両の通行など安全安心の確保等に寄与している。
-----------------------	--

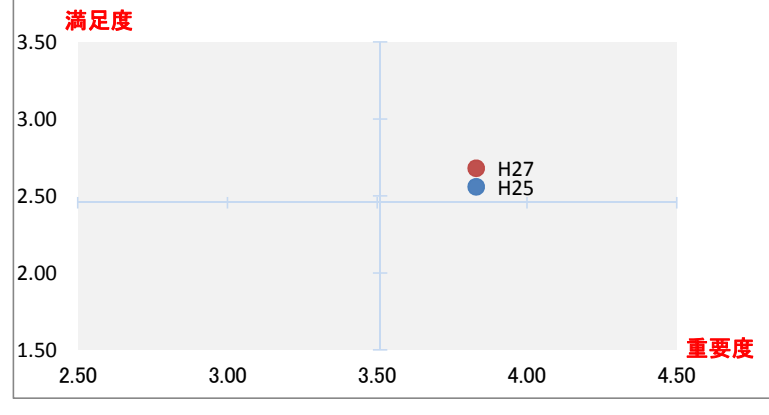
この施策の 平成26年度の 施政方針	-
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	生活環境政策「快適・活力」
	基本計画 (中項目)	快適な生活が送れるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民生活の利便向上、事業者の経済活動の円滑化、通学路や緊急車両の通行など安全安心の確保	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	生活道路である市道は未だ幅員が狭小であったり老朽化が進んでいる箇所があり、引き続き整備を進めていくとともに、多くの市道・橋梁が耐用年数を迎えつつあることから、長寿命化計画により計画的な維持管理を行っていく必要がある。 国道2号等幹線道路では、依然、事故・渋滞が多発していることから、その解消のため国・県へ要望を続けていく。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 国・県道の整備促進 計画的な市道整備と長寿命化計画 通学路の安全確保 市民との協働による維持管理 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H25	H27
重要度 (%)	3.83	3.83
満足度 (%)	2.56	2.68



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	道路整備は市民の生活に直結する施策でもあり非常に関心が高く要望も多い事業である。引き続き満足度の向上のため整備を進めていく必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H24	H25	H26			H27	H28
市道舗装率	目標	%	85.0	85.0	85.0	舗装済延長/市道総延長 (舗装済延長 397,801.2m / 市道総延長 473,129.9m)	H27	85.0	
	実績	%	84.0	84.1	84.1		H28	85.0	
	達成率	%	98.8	98.9	98.9		H34	90.0	
	ベンチマーク	-	-	-	-		-	-	
市道整備率	目標	%	24.0	24.0	24.0	幅員4m以上の市道延長/指導実延長 (改良済延長 95,946.4m / 市道総延長 473,129.9m)	H27	24.0	
	実績	%	20.2	20.3	20.3		H28	25.0	
	達成率	%	84.2	84.6	84.6		H34	30.0	
	ベンチマーク	-	-	-	-		-	-	
ボランティア参加団体年間活動回数	目標	団体	50	50	50	参加団体数を増やす	H27	50	
	実績	団体	42	42	40		H28	50	
	達成率	%	84	84	80		H34	60	
	ベンチマーク	-	-	-	-		-	-	
参考指標③	目標						H27		
	実績						H28		
	達成率	%					H34		
	ベンチマーク						-	-	

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県	それぞれの管理区間との連携	連携を密にすることにより、ミッシングリンクの解消と面的な整備を促進する

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	舗装率は道路整備状況を顕すものであり指標として妥当。これからの施設管理においては市民との協働による維持管理活動が重要となってくるため本指標は妥当。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	概ね妥当である。期成会負担金等については他市の状況も見ながら廃止、縮小も検討したい。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	財政状況は引続き厳しいが年次的に整備を進めており、今後も着実に道路整備を進めていく。ボランティア参加団体数は年々増えてきており、今後更なる団体増を目指す。	
進行年度 (H27年度) の取組内容 (課題解決状況)		国道2号については香登・西鶴山地区においてH24年度から国交省により安全対策のための整備が着手されており、地権者との協議を進めている。また県道においても市内数箇所の要望箇所について事業実施の予定。市道・生活道路も引き続き改良・修繕等整備を進めている。	
翌年度 (H28年度) の取組目標		道路改良、修繕については年度予算を確実に執行する。国・県には引き続き強力に要望活動を続けていく。	
二次評価者コメント		幹線道路については、期成会を中心とした国・県道の整備促進の要望活動を進めてください。生活道路については、地区住民の意向を踏まえ効率的な維持管理に努めてください。	基本施策への貢献度 4 やや高い
役職	まちづくり部長		
氏名	高橋 昌弘		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位：千円, 人)										施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆☆☆☆
			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
01 国道等整備促進事業	国道2号(岡山県東部)整備促進期成会負担金	単市	200	106	0.01	200			200			200	☆☆☆☆
	国道2号(岡山県東部)整備促進期成会事務	単市		690	0.07		317	0.03		821	0.23		☆☆☆☆
	国道2号(岡山県東部)整備促進要望事務	単市	938	1,393	0.14		993	0.10		373	0.05		☆☆☆☆
	国道374号整備促進期成会会費	単市	40	106	0.01	30			20			50	☆☆☆
	国道374号整備促進要望事務	単市								188	0.02		☆☆☆
	国道250号整備要望事務	単市											☆☆☆☆
	道路整備促進同盟会・全国協議会要望事務	単市				39			116			138	☆☆
	(社)日本道路協会負担金	単市	30			30			30			30	☆☆
	中国国道協会会費	単市	60			60			60			60	☆☆
02 県道改良事業	中国横断自動車道建設促進岡山県期成会会費	単市	1			1			1			1	☆☆
	道路改良県工事負担金	法定	29,554			27,454	79	0.01	34,682			23,550	☆☆☆☆
03 県道整備促進事業	県道改良要望事務	法定		516	0.06		437	0.05		234	0.03		☆☆☆☆
	県市町村道整備促進期成同盟会負担金	単市	15			14			14			14	☆☆☆
	中部高原地域整備促進期成会負担金	単市	50			50			50			50	☆☆
	研修会等参加負担金	単市	10			8			8			10	☆☆☆
	県土木協会会費	単市	50			50			50			50	☆☆☆
04 県道維持管理事業	中国地区用地対策連絡会会費	単市											☆☆☆
	岡山アダプト推進事業事務	補助		154	0.02		249	0.03		255	0.03		☆☆☆☆
05 道路等新設改良事業	岡山ロードサポート事業事務	補助											☆☆☆☆
	道路新設改良事業	補助	116,242	15,730	2.40	140,457	18,064	2.92	186,460	18,464	2.88	212,216	☆☆☆☆
	橋梁新設改良事業	補助	66,246	4,966	0.62	56,682	3,071	0.39	0	843	0.11	0	☆☆☆☆
06 道路等維持管理事業	用地購入等事務	補助	27,856	5,842	0.73	8,721	4,003	0.50	12,120	1,977	0.25	47,000	☆☆☆☆
	道路維持管理事業	単市	44,835	6,550	0.99	47,763	6,131	0.89	46,936	6,947	0.96	26,081	☆☆☆☆
07 市道等管理事業	橋梁維持管理事業	単市	0	366	0.05	3,591	411	0.05	6,424	1,730	0.21	12,080	☆☆☆☆
	市道等管理事業	法定		7,633	0.91		7,345	0.86		4,997	0.62		☆☆☆
	道路占用許可事務	法定		2,329	0.29		2,456	0.31		1,816	0.23		☆☆☆
	市道水路占用許可事務	法定		1,839	0.23		2,139	0.27		1,766	0.22		☆☆☆
	官民境界事務	法定		743	0.09	5,200	775	0.09	4,359	703	0.10	3,759	☆☆☆
	道路用途廃止事務	法定		79	0.01		106	0.01					☆☆☆
	市道認定・市道編入事務	法定		783	0.08		293	0.03		202	0.02		☆☆☆
	特殊車両通行許可事務	法定		159	0.02		317	0.04		241	0.03		☆☆☆
	道路台帳補正事務	単市	3,377	378	0.04	2,940	94	0.01				3,000	☆☆☆☆
08 協働による市道等管理事業	道路河川等ボランティア推進事業補助金	単市	1,803	649	0.07	1,938	480	0.05	1,891	188	0.02	2,040	☆☆☆☆
09 日生架橋建設事業	測量調査設計業務	補助	32,560	499	0.05	23,520	555	0.06	21,414	6,032	0.56	4,400	☆☆☆☆
	日生頭島線新設工事	補助	1,673,261	10,641	1.23	1,307,970	11,040	1.29	1,208,692	10,664	1.21	0	☆☆☆☆
	日生頭島線関連事務	補助	34,786	9,493	0.95	19,078	8,772	0.84	0	1,295	0.13	0	☆☆☆☆
この施策に費やした資源 (単位：千円, 人)			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	
			2,037,283	71,644	9.07	1,645,796	68,127	8.83	1,523,527	59,736	7.91	334,729	

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		事業開始年度		根拠法令・例規等		
総合計画	大項目 基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」	問	担当課(室)	
	中項目 基本施策	08	快適な生活が送れるまち			まち整備課
	小項目 施策	34	道路環境の整備			
事務事業名		01	国道等整備促進事業	合	職・氏名	
				先	電話	
					0869-64-1833	
				このシート作成に要した時間		
				2.0 時間		

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	国土交通省、岡山県、地域住民	
目的 (何のために)	国道等を整備することにより、地域の活性化を図ることを目的とする。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	国道等の整備により、地域の安全、活性化を図りたい。	

事業の実績		事業の説明	優先度
目的を達成するための実施した事業	国道2号(岡山県東部)整備促進期成会費	国道整備のための負担金	◎
	国道2号(岡山県東部)整備促進期成会事務	国道整備のための要望事務	◎
	国道2号(岡山県東部)整備促進要望事務	//	○
	国道374号整備促進期成会費	国道整備のための負担金	○
	国道374号整備促進要望事務	国道整備のための要望事務	○
	国道250号整備要望事務	//	○
	道路整備促進期成会・全国協議会要望事務	国道整備のための要望事務	▲
	(社)日本道路協会負担金	//	▲
	中国道路協会会費	//	▲
	中国横断自動車道建設促進岡山県期成会費	//	

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績					
決算額	事業費	千円	1,269	360	427					
	必要人員	人	0.23人	2,295	0.13人					
	必要人員	人	2,295	0.13人	1,310					
財源	事業費	千円	3,564	1,670	1,809					
	国									
	県									
	支									
	出									
受	益									
	者									
	負									
担	入									
	金									
	債									
一	般									
	財									
	源									
受	益	者	負	担	比	率	%			

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	国道2号(岡山県東部)道路整備促進期成会	説明			
	結果指標		3	3	3
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	3,564,000	1,670,000	1,809,000
単当たりコスト		1,188,000	556,667	603,000	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
成果指標名	成果指標名	目標値(A)	3	3	3	2
	要望実施箇所数	実績値(B)	3	3	3	到達目標値
		達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
要望実施箇所数(B)/要望箇所数(A)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 C
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 C

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

進行年度(H27年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
説明		本年度においても整備実現のため引き続き実施していく。							

総合評価		総合評価
国道2号の慢性的な渋滞の解消に伴う道路改良の早急な整備は期待できないが、局所的な整備要望により成果に結びついた。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 C

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
取組目標		次年度以降も引き続き行う必要がある。							

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要					
事業開始年度	昭和46年度～			根拠法令・例規等	
総合計画	大項目 基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」	問 担当課(室)	まち整備課
	中項目 基本施策	08	快適な生活が送れるまち	合 職・氏名	管理係長 中野智子
小項目 施策	34	道路環境の整備		先 電 話	0869-64-1833
事務事業名	02	県道改良事業		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		
対象 (誰・何に対して)	県道利用者	
目的 (何のために)	県道の効率的・効果的な整備により、道路交通の円滑化や圏内の一体的発展及び安全で快適な通行の確保を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	県に要望し、県道事業整備を実現させる。	

事業の実績			
	細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するために実施した事業	道路改良県工事負担金	県が実施した工事にかかる市町村負担金	○
	県道改良要望事業	県道整備の要望	○

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	直接事業費	千円	29,554	27,454	34,682
		必要人員・人件費	千円	0.06人 516	0.06人 516	0.03人 234
		事業費計		30,070	27,970	34,916
	財源	国県支出金				
		受益者負担				
		繰入金				
		市債				
		その他()				
		一般財源		30,070	27,970	34,916
	受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	県工事実施件数	説明				
	結果指標量			3	4	6
	対前年比	%		-	133.3%	150.0%
	活動コスト	円		30,070,000	27,970,000	34,916,000
単当たりコスト			10,023,333	6,992,500	5,819,333	

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
要望実施箇所数	成果指標名	目標値(A)	24	29	29	5
		実績値(B)	4	1	5	到達目標値
		達成率(B/A)	16.67%	3.45%	17.24%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
要望実施箇所数(B)/要望箇所数(A)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C
市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している		

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	県の財政状況からも実施については難しいが、引き続き要望していく。						

総合評価		
整備要望箇所については、局所的な要望に見直すなど改善をしながら取り組んでいる。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		C

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	次年度も引き続き要望していく必要がある。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

Plan

Do

Check

Action

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	昭和46年度～		
総合計画	大項目 基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」
	中項目 基本施策	08	快適な生活が送れるまち
	小項目 施策	34	道路環境の整備
事務事業名	03	県道整備促進事業	
問	担当課(室)	まち整備課	
合	職・氏名	管理係長 中野智子	
先	電話	0869-64-1833	
このシート作成に要した時間			2.0 時間

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	県道利用者
目的 (何のために)	市内の県道で整備が必要な箇所を選定し、県に早期整備の予算措置の要望を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	整備促進し利用者の安全を図る。

事業の実績		事業の説明	優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	県道整備のため負担金	○
	県市町村道整備促進期成同盟会負担金	〃	△
	中部高原地域整備促進期成会負担金	〃	○
	研究会等参加負担金	〃	○
	県土木協会会費	〃	○
	中国地区用地対策連絡協議会	〃	△

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	直接事業費	千円	125	122	122
	必要人員人件費	千円	0.00人	0	0.00人
決算額	事業費計	千円	125	122	122
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
その他()	千円				
一般財源	千円	125	122	122	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	負担案件数	説明			
	結果指標量		3	3	3
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	125,000	122,000	122,000
単当たりコスト	円	41,667	40,667	40,667	

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
納入件数率	目標値(A)		100	100	100	100
	実績値(B)		100	100	100	到達目標値
	達成率(B/A)		100.00%	100.00%	100.00%	100
成果指標設定の考え方・式や説明						
負担案件数/納入件数						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高い低い
		<input type="checkbox"/>	法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
必要性の評価	市民ニーズ	<input type="checkbox"/>	現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	C
		<input type="checkbox"/>	事業の内容が一部の受益者に偏っている	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	D
		<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高い低い
		<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	C
		<input checked="" type="checkbox"/>	市民・団体等から要望・要請が強い	
		<input type="checkbox"/>	単位当たりコストは前年度と比較して改善している	効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高い低い
		<input type="checkbox"/>	実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある	
		<input type="checkbox"/>	事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	D
		<input type="checkbox"/>	コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	
		<input type="checkbox"/>	受益者負担率は適正である	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高い低い
		<input type="checkbox"/>	受益者負担率を見直す余地がある	
		<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	C
		<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
		<input type="checkbox"/>	最も適当な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高い低い
		<input type="checkbox"/>	成果指標の設定は適切である	
		<input type="checkbox"/>	成果指標の到達目標値は達成できそうである	C
		<input type="checkbox"/>	成果指標達成率は前年度と比較して向上している	
		<input type="checkbox"/>	成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高い低い
		<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	
		<input type="checkbox"/>	法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい	C
		<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		<input type="checkbox"/>	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高い低い

進行年度(H27年度)の改革改善内容		状況	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○					
説明		県の財政状況からも実施に結びつかないことが多いが、引き続き要望していく。						

総合評価		総合評価
整備箇所は、内容を見直すなど改善をしながら状況に応じた事業継続が必要である。		C

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○					
取組目標		次年度も引き続き要望していく必要がある。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

Plan

Do

Check

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成13年度～	根拠法令・例規等	
総合計画	大項目	基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」	
	中項目	基本施策	08	快適な生活が送れるまち	まち整備課
	小項目	施策	34	道路環境の整備	管理係長 中野智子
事務事業名		04	県道維持管理事業	職・氏名	0869-64-1833
				電話	このシート作成に要した時間
					2.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	公共施設利用者	
目的 (何のために)	地域住民及び企業等の団体が市の支援の下に、清掃美化活動等のボランティア活動を通じて公共施設への愛着心を深めるとともに公共施設利用のマナーの向上を図ることを目的とする。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	公共施設利用者の清掃やマナー向上を図る。	

事業の実績			Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	岡山アダプト推進事業	県事業の美化活動事業の補助を行う	○	
	岡山ロードサポート事業	県事業の道路維持事業の補助を行う	△	

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	必要人員	千人	0.02人	0.03人	0.05人
	事業費	費用	千円	154	249	416
	財源	国 県 支 出 金				
		受 益 者 負 担				
		繰 入 金				
		市 債				
		その他 ()				
		一 般 財 源	千円	154	249	416
		受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-
結果指標	結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	アダプト参加団体数		説明			
	結果指標	量		44	45	49
	対 前 年 比	%		-	102.3%	108.9%
	活動コスト	円		154,000	249,000	416,000
	単 位 当 た り コ ス ト		3,500	5,533	8,490	

事業の成果 (平成25年度事業)						
平均活動回数	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
	目標値 (A)		5	4	4	4
	実績値 (B)		4	4	4	到達目標値
達成率 (B/A)			80.00%	100.00%	100.00%	4
成果指標設定の考え方・式や説明						
活動回数/活動団体						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性 必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 高 低 D
		市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている
効率性の評価	コスト 手段	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 高 低 C
		目的達成度 市民参画度	

進行年度 (H27年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	平成23年度以降、団体数に大きな変動はなく、事業として定着してきたものと分析するが、現状のまま引き続き実施する。						

総合評価		総合評価
当事業は、県事業の受付事務及び県への進達が主なものであるため、事務事業の効率が良くないが、活動団体の利便性は高い。ボランティア団体が参画していることから、県への苦情等の取り次ぎ件数が減少している。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 高 低 C

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	制度が定着しており、市の事務量を軽減するのは難しいが、効率を上げるためには制度・申請手続き等さらに認知度を上げる必要がある。						

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しない

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成26年度事業)

事業の概要		平成17年度～		根拠法令・例規等	道路法
事業開始年度	05	生活環境政策「快適・活力」		問 担当課(室)	まち整備課
総合計画	大項目 基本目標	08	快適な生活が送れるまち	合 職・氏名	係長 岡村 悟
計画	中項目 基本施策	34	道路環境の整備	電 話	0869-64-1835
事業名	05	道路等新設改良事業		このシート作成に要した時間	6.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	道路を通過する歩行者・二輪車・自転車・自動車	
目的 (何のために)	安全で安心して円滑に道路を通行するために	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	道路改良により、幅員が3.5m以上となる工事の割合を一定以上保ち、改良効果の向上を図る。	

事業の実績			Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	道路新設改良事業	市道の新設、拡幅、改良及び舗装をし、道路を円滑に通行できるようにする。	◎
	橋梁新設改良事業	新しく橋を架けたり、老朽化した橋を改良する。	◎
	用地購入事務	市道の新設や拡幅するための用地を購入する。	◎

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	
	事業費	直接事業費	千円	210,344	205,860	198,580	
	必要人員	人件費	千円	3.75人	26,538	3.81人	
	事業費	費計		236,882	230,998	219,864	
	財源	国	県支出金		39,127	56,359	29,052
		受	益者負担				
		繰	入金				
		市	債	千円	21,700	20,600	29,600
		その他()					
	一	般財源		176,055	154,039	161,212	
受	益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績		
結果指標	量	説明	改良工事後に幅員が3.5m以上になった道路の延長				
対	前年比	%	795	947	711		
活	動コスト	円	76,656,950	70,940,550	60,140,250		
単	位当たりコスト		96,424	74,911	84,585		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
改良工事に占める幅員3.5m以上改良延長の割合	目標値(A)	65	65	65	65
	実績値(B)	32	58	54	到達目標値
	達成率(B/A)	49.23%	89.23%	83.08%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
幅員3.5m以上改良延長/改良延長					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー	
有効性の評価	目的達成度		B	
	市民参画度		B	

進行年度(H27年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	26年度は3.5m以上の拡幅割合の達成率が83%となった。今後も用地協力が得られ、緊急性、事業効果の高いところから重点的に整備をしていく。					

総合評価		総合評価
26年度は日生町頭島地内の狭小幅員を拡幅改良したため、成果指標の実績値は上がり、生活に密接した道路の整備はできた。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー
		B

平成28年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	コスト削減を考え、緊急性の高い用地協力の得られたところ、事業効果の大きいところから重点的に道路整備を行っていく。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		平成17年度～		根拠法令・例規等	道路法
事業開始年度				問	担当課(室)
総合計画	大項目	基本目標	05	答	まち整備課
	中項目	基本施策	08	職・氏名	土木係長 岡村 悟
	小項目	施策	34	電話	0869-64-1835
事務事業名		06 道路維持管理事業		このシート作成に要した時間	
				3.5 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	道路を通行する歩行者・自転車・二輪車・自動車	
目的(何のために)	安全で安心して円滑に道路を通行するために。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	道路維持管理の不備による事故発生を未然に防ぐ。	

事業の実績			Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	道路維持管理事業	既設の擁壁、道路側溝、舗装等が損傷して通行に支障が出た場合に修繕を行なう。	◎
	橋梁維持管理事業	橋梁が損傷して通行に支障が出た場合に修繕を行なう。	○

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	直接事業費	千円	44,835	51,354	53,360
	必要人員	人件費	千円	1.04人	6,916	0.94人
	事業費	千円	51,751	57,896	62,037	
	財源	国庫支出金	千円		10,988	3,080
	受	受益者負担				
	繰入金					
	市					
	その他()					
	一般財源		51,751	46,908	58,957	
	受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	説明					
	結果指標量	箇所		126	137	134
	対前年比	%		103.7%	108.7%	97.8%
	活動コスト	円		51,751,000	57,896,000	62,037,000
単位当たりコスト			410,722	422,599	462,963	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
道路の維持管理の不備が原因となる事故発生件数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	0	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	0
成果指標設定の考え方・式や説明					
道路の維持管理の不備が原因となる事故発生件数					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← □ - 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	市民参画度			B

進行年度(H27年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	限られた予算の中で、要望のあった修繕箇所を十分精査し、市道・市管理河川等ボランティア推進事業を行う団体と協議しながら、危険性・緊急性の高いものから実施していく。					

総合評価		総合評価
道路施設の老朽化が進んでいることから、事業量・事業費は増えている。このことから、修繕内容を十分精査し、市道・市管理河川等ボランティア推進事業を行う団体と協力しながら、安全・安心の観点から危険性・緊急性の高いものから実施していく必要がある。また、大規模修繕においては、道路ストック事業を活用し、財源を確保し実施していく。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		A

平成28年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	限られた予算の中で、危険性・緊急性の高いところから実施していく必要があるが、修繕箇所の早期発見、早期対応により、費用の縮減及び事故の発生を未然に防ぐことに努める。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

Action

備前市事務事業評価シート

事業の概要			根拠法令・例規等	道路法
事業開始年度	平成8年度～			
総合計画	大項目 基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」	
	中項目 基本施策	08	快適な生活が送れるまち	まち整備課
	小項目 施策	34	道路環境の整備	管理係長 中野智子
事務事業名	07	市道等管理事業	電 話	0869-64-1833
			このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	市道等利用者及び地域住民
目 的 (何のために)	市道等を整備し地域住民をはじめ市道等利用者の安全を図る。また、地域活性化を図ることを目的とする。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	市道を管理し有効に利用する。

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	市道等管理業務	市道等の管理を行う	◎
	道路占用許可業務	道路占用の許可を行う	◎
	市道水路占用許可業務	道水路占用の許可を行う	◎
	道路官民境界事務	市道などと民有地の境界の確認を行う	○
	道路用途廃止業務	道路としての用途を廃止する	◎
	市道認定・市道編入業務	道路を市道への認定・編入を行う	◎
	特殊車両通行許可業務	特殊車両の通行を許可を行う	○
	道路台帳補正業務	道路改良など変更箇所補正を行う	○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	直接事業費	千円	8,746	8,140	4,359
	必要人員人件費	千円	1.67人	13,943	1.62人
	事業費	千円	22,689	21,665	14,084
決算額	国 県 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担				
	繰 入 金				
	市 債				
	その他()				
一 般 財 源		22,689	21,665	14,084	
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
収入件数	説明		市道及び普通河川の占用許可を行った件数		
結果指標量			184	189	197
対前年比	%		-	102.7%	104.2%
活動コスト	円		22,689,000	21,665,000	14,084,000
単位当たりコスト			123,310	114,630	71,492

事業の成果					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
苦情発生件数	目標値(A)	1	1	1	0
	実績値(B)	1	1	1	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	0
成果指標設定の考え方・式や説明					
許可等に対する苦情件数					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
		<input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	B

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	占用料収入については、ガス事業者の導管敷設等により増加傾向にある。道路台帳については、引き続き電算化を進めるとともに、あわせて占用料システムの導入を検討する。						

総合評価	
占用等の業務については、苦情も無く処理できている。今後も申請者に対し手続き・施工についての指導を徹底し、許可によって市民生活に支障をきたすことのないよう努める。また道路維持作業員制度は相当の効果が発揮されたため、引き続き本制度を有効に活用し、パトロールの強化及び草刈作業等を定期的に行うことで安全な市道利用と道路環境整備に努めた。	総合評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	市道台帳をはじめ橋梁台帳、占用料台帳などの整備をさせ、迅速で適正な業務の遂行に努めたい。						

事業の意図する成果とつながらる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

Check

C

有効性評価

B

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			根拠法令・例規等	
事業開始年度	平成14年度～			
総合計画	大項目 基本目標	05 生活環境政策「快適・活力」		
	中項目 基本施策	08 快適な生活が送れるまち	問	担当課(室) まち整備課
	小項目 施策	34 道路環境の整備	合	先 職・氏名 管理係長 中野智子
事務事業名		08 協働による市道等管理事業	電	話 0869-64-1833
このシート作成に要した時間				2.5 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	公共施設利用者
目 的 (何のために)	地域住民や企業等の団体が市の支援の下に、清掃美化活動等のボランティア活動を通じて公共施設への愛着心を高めるとともに公共施設利用のマナーの向上を図ることを目的とする。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	公共施設利用者の清掃意識やマナー向上を図る。

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
道路・河川等ボランティア推進事業	道路・河川等の清掃美化活動の補助を行う	◎
目的を達成するため実施した事業		

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	1,803	1,938	1,891
	必要人員(人)件費		0.07人	0.05人	0.02人
	事業費		2,452	2,418	2,079
	計				
財源	国 県 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担				
	繰 入 金				
	市 債				
	その他()				
	一 般 財 源	2,452	2,418	2,079	
	受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	活動団体数	説明			
	結果指標量		57	60	56
	対前年比	%	-	105.3%	93.3%
	活動コスト	円	2,452,000	2,418,000	2,079,000
	単 位 当 た り コ ス ト		43,018	40,300	37,125

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果 (平成26年度事業)					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
平均活動回数	目標値(A)	4	4	4	4
	実績値(B)	4	4	4	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	4
成果指標設定の考え方や説明					
活動回数(B) / 活動目標回数(A)					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性 必要性 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている		妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高い低い
		<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B	
効率性の評価	コスト 手段	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高い低い
		有効性の評価	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している
				C

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状 況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説 明	活動成果により維持管理コストが軽減されているため引き続き行う必要がある。						

総合評価	
構成員の高齢化等により前年度比が4団体減少しているものの、新規団体の参加もあり、清掃美化活動への貢献度が上がっている。今後も登録団体を増加させ、直営で行っている草刈経費等の縮減効果を上げる。	総合評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高い低い
	B

平成28年度の方向性・取組目標							
方 向 性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取 組 目 標	平成28年度以降も引き続き行う必要がある。						

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		平成6年度		根拠法令・例規等	道路法・離島振興法
事業開始年度				問担当課(室)	まち整備課
総合計画	大項目基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」	合職・氏名	参事 淵本安志
計画	中項目基本施策	08	快適な生活が送れるまち	電 話	0869-64-1833
	小項目施策	34	道路環境の整備	このシート作成に要した時間 5.0 時間	
事務事業名		09	日生架橋建設事業		

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市民・観光客等	
目的(何のために)	離島地域の隔絶性の解消、救急医療などの安全性の確保。産業振興、人口の定着化、観光資源の活用、交流人口の増による地域振興を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	離島地域の隔絶性の解消、救急医療などの安全性の確保。産業振興、人口の定着化、観光資源の活用、交流人口の増による地域振興を図る。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	測量調査設計事業	日生頭島線の新設に伴う測量、各種調査、道路、橋梁設計	
	日生頭島線新設工事	日生頭島線の道路、橋梁、関連工事	
	日生頭島線事務	各種許可、用地買収、補償交渉、国庫補助事業等に伴う事務	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		(平成26年度事業)				
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
事業進捗率	目標値(A)	66.3	85.9	100		
	実績値(B)	64.4	84.2	100	到達目標値	
	達成率(B/A)	97.13%	98.02%	100.00%		
成果指標設定の考え方・式や説明						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← □ - 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度			B

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

進行年度(H27年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了							○
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
						○									
説明	事業完了。														

総合評価	
事業完了。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成28年度の方向性・取組目標															
方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了							○
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
						○									
取組目標															

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	直接事業費	千円	1,740,607	1,350,569	1,230,107	
	必要人員費	人件費	2.23人	20,633	2.19人	20,367
	事業費	千円	1,761,240	1,370,936	1,248,098	
	国庫支出金	千円	1,153,000	886,600	797,200	
財源	受益者負担					
	繰入金					
	市	千円	547,600	421,000	378,500	
	その他()					
一般財源	千円	60,640	63,336	72,398		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標	結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	結果指標量			1	1	
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	1,761,240	1,370,936	1,248,098	
	単位当たりコスト		1,761,240	1,370,936	1,248,098	